

広報

こだま

2013
Vol.13

【栗田病院 広報誌】

新年のご挨拶

理事長 栗田 邦子・院長 栗田 裕文

フォーカス くりた人

認知症治療病棟 看護師 野上 奈津子

広報散歩

訪問リハビリテーション



有朋会・理念

- 1 私達は、明るく開放的な雰囲気をつくり、様々なこころの悩みに応えることができる法人を目指します。
- 2 私達は、患者様、利用者様一人一人を尊重した支援を行い、共に歩んでいきます。
- 3 私達は、情熱と誇りを持って質の高い医療・介護を提供します。



医療法人社団 有朋会
栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>



理事長・院長より新年のご挨拶

創立46年を迎えて

新年明けましてお目出度うございます。今年の有朋会はより接遇と環境整備に力を注いで参ります。環境整備された病院や介護施設で心こもる温かな接遇で、医療や介護の質の向上を目指します。きれいに整理・整頓された場所で、一人一人を尊重した対応や支援は、有朋会の繁栄や発展の礎になっていると考えています。

患者様や利用者様一人一人を尊重した対応を通して、地域でなくてはならない有朋会でありたいと考えております。今年もよろしくお願い致します。

(理事長 栗田 邦子)



「こころ」のケアを通して

新年、明けましておめでとうございます。医療法人・有朋会栗田病院、院長の栗田裕文です。

患者様やご家族様、連携をいただいております諸機関をはじめとした地域の皆さま方、そして有朋会職員の皆さん等々、たくさんの方々を支えられ、応援をいただいて、お陰さまで有朋会は平成24年も元気に活動をして参りました。この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

有朋会は地域の「こころ」の健康を応援する、向上に寄与する、元気にしていく、



そんな自負と情熱を持って今年も邁進して参ります。

平成25年も、1.外来へ入院医療、2.地域生活支援、3.認知症ケア&サポート、の3つの柱を軸とした「こころ」のケアを通して、患者様やご家族様、地域の皆さま等々、様々な方々の「こころ」に暖かな灯かりを灯していきたいと願っています。

その方がほっと安らいだり。ホッと熱い気持ちが湧き上がった。そんな援助や支援をお届け出来れば嬉しいです。

今年も地域の皆様と手を携えながら、共に歩んでいきたいです。ご指導、御鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。

フォーカス

くりた人



認知症治療病棟

看護師 野上 奈津子

当院で勤務している
現場職員の声をお伝えします

院内ではどの様な活動を行っていますか？

私は、認知症によって在宅や施設での生活が困難な方々が入院しているマロン病棟（認知症治療病棟）で勤務している看護師です。病棟では、医師をはじめ看護師、介護士、作業療法士、精神保健福祉士と様々な職種が連携をとりあっています。様々な職種がいる中で、看護師として身体的な看護や処置はもちろんの事、精神的なケアや認知症という病気によって引き起こされる様々な症状に対するケアも行っています。認知症の症状として代表的なものとしてはBPSDという周辺症状が挙げられます。周辺症状には徘徊・不潔行為・暴力・妄想・不穏などの症状があります。その症状をアセスメントし適切な対応をスタッフ間で話し合って一人一人と関わるようにしています。また、家族が抱える不安や悩みを聞くことで家族への精神的なケアも行っています。

患者と関わる上で心がけていること

認知症患者様はそれぞれ自分の世界観を持っています。患者様の生きている世界を大切にすること、一番に心がけています。患者様は常に不安と闘っています。そして何より、認知症患者様は感情が鋭敏だと聞きます。私がイライラしていたり表情が固かったりすると患者様にもその感情だけが伝わり患者様もイライラや不快感をもってしまう落ち着かなくなります。そのため、私はその患者様の世界観を理解し、接するときは自分の心を穏やかにして患者様とコミュニケーションを図っていくようにしています。

また、患者様のほとんどが60歳以上の高齢者の方です。人生の大先輩であり、生活歴の長い経験豊かな患者様がほとんどなので、敬意をもって関わっていただくことも心がけています。

印象に残っているエピソードがありましたら教えてください。

患者様と関わる上で心がけていることの話の続きになってしまっていますが、私が受け持っていた患者様とのエピソードです。その患者様は不安感が強く、また記憶障害が顕著にみられていました。10分前に食事をしたことや、薬を飲んだことを忘れたり、『死にたい』等の訴えがあり、1日に何度も部屋とナースステーションを行き来するなど同じ行動を繰り返していました。訴えてくるときの患者様は、不安で固い表情をしていました。入社当時の私は、まだ業務に慣れず仕事に忙しいと感じており、それが自分の態度や表情によく出てしまっていたのだと思います。その患者様は、納得いかない様子で何度も繰り返し訴えていました。

ある時、私はその患者様の立場になって考えてみました。すると「直前の事が思い出せない」「場所も

将来の目標

私は看護師4年目で認知症圏の看護を学びたいと決意し、栗田病院に入職しました。入職して約1年、業務や役割などは理解してきましたが、看護師としての経験もまだ浅いと感じています。また、認知症という疾患についての知識もまだ浅く、基礎や知識を増やしていきたいと考えています。

次に認知症看護と平行に老年期看護の充実化を図っていきたいと考えています。認知症患者様のほとんどが老年期に属しています。加齢に伴い様々な身体機能の低下をおこし、認知症の症状+肺炎や骨折などの合併症を併発してしまうことがあります。合併症を発生させないための『予防』の部分も看護師としての役割だと考えています。受け持ちの患者様について、今後は入院直後から退院後の方向性を考えていけるよう自らカンファレンスを実施、ケアを提供し多職種/多部署での連携を図って積極的に動いていきたいです。



広報散歩

訪問リハビリテーションはどんな所？

今回は、訪問リハビリテーションについてインタビューを行っています。今回取材に応じてくれたのは、訪問リハビリテーション責任者（作業療法士）の大石純さんです。



訪問リハビリテーションの役割、目的って何ですか？

病院側としてみた役割と利用者側としてみた役割があります。まず、病院側から期待されている役割としては、主に病状の経過観察になります。在宅でどのような生活をしているか等の患者様の状態を主治医に報告することで、診察をよりスムーズに行うことができます。また、患者様の経過を見ているため、病状が悪化する前に早めにそのサインに気づくことができ、早めに受診に繋げる事ができます。患者様側から期待されている役割としては、地域で生活する上での不安の解消といった、本人にとって重要とされている問題の解決が主となります。また、患者様一人ひとりどこかしら孤独を感じている部分があるように思いますが、孤独ではないという事を知ってもらい、安心していただく事も私たちの役割です。

訪問リハビリテーションを利用したい場合はどのようにすればいいですか？

訪問リハビリテーションを利用する際には医師の指示が必要となりますので、診察時にご相談下さい。訪問リハビリテーションの詳しい内容についてご説明いたします。

また、電話でも訪問スタッフが直接ご説明いたします。スタッフが訪問中で不在の場合には、①氏名②折り返し先の電話番号を栗田病院の受付職員にお申し付けください。再度訪問スタッフよりお電話いたします。



訪問リハビリテーションではどのような事をやっているんですか？



定期的な体調チェックや服薬管理のお手伝いを通して、状態悪化予防、体調管理支援を行っています。また、生活しやすくなるための調理や清掃などの日常生活の練習や、お金の管理方法、対人関係をうまくこなす方法など、生活がしやすくなる自分なりの方法を身につけてもらう練習を行っています。

また、ご家族様への支援も行っています。「本人の事が心配」「どうしたらいいのかわからない」というご家族様の悩みにも直接生活の場を見させていただき、実践的な助言やお手伝いをさせていただきます。



訪問看護から訪問リハビリテーションに部署名が変更になってますが変わった事はありませんか？

今までの「訪問看護」ですと、どうしても看護師を中心とした患者様への病状への関わりがメインとなりがちでした。

現在は訪問リハビリテーションとなり、多職種（看護師、作業療法士、精神保健福祉士）で本人に関わっています。

多職種で本人と関わることで、リハビリテーションとしての色が強くなっています。一人ひとりに合った治療やリハビリテーションはそれぞれ違います。患者様のニーズに沿った職種のスタッフを配置し、患者様に対してある程度同じスタッフで対応する事が実現できています。同じスタッフが関わる事は患者様との信頼関係を築く上で重要な事です。

最後に、ひとこと？

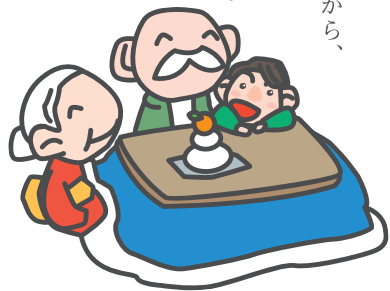


訪問リハビリテーションは皆さまのお宅に直接訪問して支援を行っております。

「病院が遠くて何度も行けない」「診察の場面では生活で実際困っていることをなかなか伝えられない」「家の方が気兼ねなく話せる」等とお困りだったり、ご希望がございましたら、遠慮なく訪問リハビリまでご連絡ください。もちろん、ご家族様のお話も聞かせていただきます。

ご本人様、そして周りの皆さまが生き生きと生活できるような支援をさせていただきたいと私たちは考えています。

さまざまなことを一緒に乗り越えていきながら、皆さまが自分らしく生活していけるよう支援させていただきます。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。私は広報委員の広報「こだま」作成担当の菊池です。

当院は、1月4日からの仕事始めでしたが、職員が集まり新年の挨拶を行いました。

新たな年のスタートが始まり、新たな気持ちで患者様により一層信頼される病院を目指していきたいと思っています。

また、広報「こだま」も新しい特集を検討し、より当法人の事を理解していただけるような内容にしていきたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。



診療案内

外来担当医一覧表

受付時間 8:00 ~ 15:30 診察時間 9:00 ~ 15:30

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	安部	片野	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	堤	高橋	堤	菌部	堀	第 1,3,5 週 吉川 第 2 週 鈴木 第 4 週 安部
	3 診				木滝		高橋
	5 診						菌部
午 後	1 診	栗田				第 2,4 週 鈴木 もの忘れ外来	休診
	2 診		袖山	木滝		第 1,3,5 週 鈴木 第 2,4 週 安谷屋	
	3 診		佐藤			渡辺	

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。
2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。
※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

*外来は完全予約制になります（内科は除く）。電話対応時間 9:00 ~ 17:00 ■=内科
*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。
予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00 ~ 17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

認知症専用デイサービス

「クリクリ瓜連」

〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7
TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ豊喰」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰28-9
TEL.029-353-2056 FAX.029-353-2057

「クリクリ住吉」

〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6
TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」

〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2
TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ青柳」

〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5
TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

グループホーム・ケアホーム

「くりの木荘」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1
TEL.029-295-7652

ケアホーム

「くりくり」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1
TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」

〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2
TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

自立訓練（生活訓練）事業所

「くりの実」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL & FAX 029-295-1834

アクセスマップ

